

## 目 次

発刊にあたつて	瓜連町長	生天目正
発刊によせて	瓜連町史編さん主幹	宇野悦郎
第一章 自然環境	三	三
第一節 位置と面積	三	三
一、位置	三	三
自然と歴史の調和した町	三	三
緑の住居都市 <small>ペッドタウン</small>	五	五
二、面積と人口	七	七
第二節 地形と地質	八	八
一、地形	八	八
二、地質	八	八

## 地形区分

瓜連丘陵の地形

台地の地形

## 沖積低地の地形

八

一一

## 二、地質

## 地質のあらまし

一四

瓜連町の基盤地質

一四

荒屋層

一四

## 瓜連層

一五

瓜連丘陵の堆積物

一七

古徳礫層

一八

## 新町礫層

一八

引田層

一九

台地の堆積物

二一

見和層

二一

## 額田段丘礫層

二三

関東ローム層

二四

沖積地の堆積物

二四

## 第三節 気候

## 一、瓜連の気候

二七

## 気候区分

二七

## 二、瓜連の気象特性

二七

## 気温

二八

降水量

二九

風・雷雨

三〇

## 第四節 植物と動物

二五

## 一、瓜連の植物

三五

(1) 植生の概要 ..... 三五

台地斜面 ..... 三五 丘陵地 ..... 三六 静神社境内 ..... 三八 古徳溜池 ..... 三九

(2) 分布上注目すべき植物 ..... 四二

二、瓜連の動物 ..... 四九

三、瓜連の鳥類 ..... 五三

(1) 市街地・農耕地 ..... 五三

(2) 古徳沼とその周辺 ..... 五四

オオハクチョウ ..... 五四 ガン・カモ類 ..... 五九

水辺の鳥 ..... 六一 山の鳥 ..... 六一

(3) 久慈川と河川敷 ..... 六二

(4) 鳥類目録について ..... 六三

## 第一章 原始・古代の瓜連地方

第一節 原始・古代の概観 ..... 六九

一、先土器時代の人々の生活 ..... 七〇

目 次

四

二、繩文時代の人々の生活

七四

大塚遺跡出土の繩文式土器

八〇

繩文時代人の集落のあり方

八一

繩文時代人の日常生活と遺物

八五

繩文人の原始信仰

九〇

三、瓜連地方の弥生式文化の形成

九三

瓜連町出土の弥生式土器

九五

瓜連町周辺の弥生式土器

九八

第二節 奈良・平安時代の瓜連地方

一〇五

一、大化改新前の瓜連地方

一〇五

久自の国

一〇五

久自の国造

一〇七

二、常陸と郡の成立・瓜連地方

一一〇

大化革新と常陸國

一一〇

常陸十一郡の成立

一一二

郡と里

一一五

三、久慈郡

一一六

郡の由来

一一八

大里・薬谷遺跡

一一九

久慈郡の郷里

一二三

瓜連地方の郷

一二四

四、七・八世紀の遺構

一二七

方頭大刀の発見

一二八

七・八世紀の住居

一二三

大塚遺跡出土の布目瓦……一三六

### 第三節 倭文の織物と静(倭文)神社

一、倭文の布と倭文部……………一四三

倭文の織物とは……一四三 倭文の用途……一四六

常陸国並びに諸国に見られる倭文部……一五〇

二、延喜式内社靜神社……………一五四

靜神社祭神考……一五四 倭文神建葉槌命の性格の両面……一五七

諸国に存在する倭文(靜)神社……一六〇 式内社靜神社とその盛衰……一六四

神階と靜神社……一六五 常陸二の宮……一六七

### 第四節 瓜連地方の古墳文化

一六九

一、弥生文化から古墳文化へ……………一六九

二、瓜連町の古墳……………一七三

一七三

鹿島台古墳群……一七三 鹿島台古墳の発掘……一七三 大塚古墳……一七六

十林寺古墳群……一七六 十林寺古墳の発掘調査……一七七

十林寺古墳出土の埴輪	一八一	新宿・上宿古墳群	一八二		
新宿古墳	一八四	石室の発掘	一八六	新宿古墳の遺物	一八八
その他の遺物	一九三	最西端の古墳	一九三	權現塚古墳	一九五
埴 輪 類	一一〇				
三、町周辺の古墳	一一〇六				
四、古墳時代の人々のくらし	一一〇八				
第三章 中世の瓜連地方	一一一七				
第一節 源頼朝と金砂合戦	一一一七				
佐竹氏の台頭	一一一七	源頼朝の平氏討伐と佐竹氏	一一一〇		
金砂合戦	一一一				
第二節 鎌倉幕府と瓜連地方	一一一六				
金砂合戦後の奥七郡	一一三六	二階堂加志村氏	一二四一		
二階堂加志村氏の館跡	一二四三	瓜連沙汰人	一二四六		

### 第三節 南北朝期の瓜連 ..... 一五〇

一、瓜連合戦と楠木正家 ..... 一五〇

楠木正家常陸に来る ..... 一五〇 瓜連落城後の楠木正家 ..... 一五五

二、瓜連城と瓜連合戦の意味 ..... 一五八

瓜連城の構え ..... 一五八 瓜連城の意義 ..... 一五九

### 第四節 室町期の文化動向と佐竹の乱 ..... 一六一

一、常福寺の了諭聖問 ..... 一六一

二、弘願寺 ..... 一六四

三、佐竹の乱と瓜連 ..... 一六五

山入氏の一揆 ..... 一六五 明応の和解 ..... 一六七

四、「古徳永正記」 ..... 一六九

伝本甲類と乙類と ..... 一六九

### 第五節 戦国期以後の瓜連地方 ..... 一七三

佐竹氏と江戸氏の盟約 ..... 一七三

豊臣秀吉の天下統一と佐竹氏 ..... 一七四

佐竹氏配下配置替 ..... 一七六

## 第六節 中世の寺院と信仰 ..... 一七八

一、浄土宗と常福寺 ..... 一七八

(1) 浄土宗の開祖法然上人とその法統 ..... 一七八

法然房源空とその法統 ..... 一七八

(2) 常陸国への浄土宗の発展と常福寺の創立 ..... 一七八

淨土宗の流れ ..... 一八一 常福寺開祖成阿了実 ..... 一八二

(3) 了譽聖圓の活躍 ..... 一八五

了譽聖圓の修行時代 ..... 一八五 了譽聖圓の教線拡大 ..... 一八八

了譽聖圓の著作 ..... 二九三

(4) 常福寺の展開 ..... 一九七

室町・戦国時代の常福寺 ..... 一九七 江戸時代初期の常福寺 ..... 一一〇〇

(5) 常福寺の文化財 ..... 一一〇五

二、時宗と旧西福寺 ..... 一一〇六

(1) 時宗の常陸国への展開	110六
一 遍智真……三〇六	他阿弥陀仏番海……110八
(2) 西福寺と諸信仰	110
西福寺の開祖……三一〇	五輪塔と板碑……11111
(3) その後の時宗と西福寺	111五
時宗と佐竹氏……三一六	
三、臨済宗と弘願寺	111八
(1) 臨済宗の常陸国への展開	111八
臨 濟 宗……三一八	
(2) 弘願寺の創立と展開	111〇
大拙祖能……三一一	弘願寺の歴代住職とその活動……11111
(3) その他の禅宗寺院	111九
四、真言宗	11111
(1) 真言宗佐久山方の展開と宥尊	11111
(2) 瓜連町域の真言宗寺院	1111五

## 第四章 近世の瓜連地方

## 第一節 水戸藩の創始と瓜連地方 三四一

一、水戸藩の創始と村々 三四一

備前検地と常福寺領帳 三四一 武田信吉の支配 三四四

徳川頼宣の支配と常福寺領検地水帳 三四八 御三家水戸藩の創始 三四九

二、寛永の検地 三五〇

丈量と石盛 三五一 磯崎村の検地帳 三五二

三、治水事業 三五六

水戸藩の治水事業と永田父子 三五六 岩崎江堰の創設 三五八

藩政時代の江堰管理 三六〇 古徳溜池 三六四 静溜池 三六八

中里溜池 三六九

四、江戸前期の宗教政策 三六九

切支丹禁制 三六九 光園の寺社改革 三七四 静神社の神仏分離 三八〇

静神宮銅印と三十六歌仙絵図 三八七 常福寺水戸家の菩提所となる 三八八

常福寺へ常紫衣の綸旨下賜……三九〇 向山淨鑑院……三九三

## 第二節 農村の発展と変容

一、村の組織……………四〇一

村のしくみ……四〇一 庄屋と組頭……四〇一 十人組……四〇四

山 横 目……四〇五 郡 奉 行……四〇六

二、農民の負担（農民と税制）……………四〇七

水戸藩の税制……四〇七 年貢割付状……四〇七 年貢小割付帳……四一二

三、雑穀制と雜稅……四一三 年貢皆済目録……四一四 静村の皆済目録……四一五

三、近世の村々と農民の生活……………四一七

瓜 連 村……四一七 下大賀村……四一〇 静 村……四一〇

古 德 村……四二五 中 里 村……四二六 鹿 島 村……四二六

農 村 社 会……四三〇 衣……四三一 食……四三三 住 宅……四三六

治 安 維 持……四三八 褒 賞……四四三 献 金 鄉 士……四四七

四、鑄錢座一揆……………四四八

水戸藩に鑄錢座の許可下りる……四四八 小沢九郎兵衛の鑄錢計画……四四九

太田村木崎に鋳銭座設立	四五一
農民の鋳銭反対	四五六
農民静神社の神輿を奪取する	四五八
神輿鋳銭座に着御鋳銭座焼失	四六〇
静神社の社家方逼塞靜・古德両村役人入獄	四六一
鋳銭座の再建及び閉鎖	四六二
五、天明の大飢饉	四六四
天明三年浅間山の大噴火と飢饉	四六五
天明六、七年ごろ	四六九
五穀成就の御祈禱	四七二
凶荒に対する政策	四七三
六、交通の発達	四七四
水戸藩の幹線街道	四七四
南郷街道	四七六
瓜連地方の道路	四七八
久慈川の舟運	四八一
郡珂川の舟運	四八二
旅日記	四八四
七、村の変容	四八五
貨幣經濟の流入	四八五
貧富調査	四八八
人口の減少	四八九
農民の負担の増大	四九二
土地兼併	四九三
農村の荒廃	四九五
百姓一揆	四九八
第三節 天保の改革と瓜連地方	五〇六

一、天保の飢饉	五〇六
天保四年の凶作	五〇六
天保七年の飢饉	五一二
天保九年の凶作と飢饉の終息	五一七
二、天保の改革	五二〇
斎昭の藩主就任と藩政改革	五二〇
斎昭の肖像画	五二七
三、天保の検地	五二〇
検地に至る経過	五三〇
検地の実施	五三一
位付・石盛と一間六尺五寸制	五三三
下大賀村の検地帳	五三四
四、税制の改革	五三八
定免制と取門の制度化	五三八
畠年貢の引き上げと屋敷引き	五四一
三雜穀の廃止と雜稅の整理	五四一
鹿島村の大割付帳	五四二
静村の皆済目録	五四六
五、天保の寺社改革	五四八
梵鐘・仏具類の没収	五四八
僧侶・寺院の整理	五五一
葬祭等の刷新	五五一
静神社の火災と再建	五五八

神葬祭と氏子制度……五五九 常福寺と齊昭……五六二

常福寺と齊昭……五六二

第四節 幕末の争乱と瓜連地方……………五七二

一、幕末の藩状と瓜連地方……………五七二

幕末の水戸藩……五七二 甲辰の国難……五七三

アメリカの来航と齊昭幕政関与……五七五 安政の改革……五七七

無勅許調印……五七九

二、安政の大獄……………五八三

雪兔運動……五八三 勅諱返納問題……五八九

三、桜田事変……………五九一

大老襲撃……五九一 齊昭の薨去……五九四 東禅寺事変……五九五

坂下門外の変……五九五 文久の改革……五九六 摶夷決行……五九八

八月十八日の政変……五九八 筑波山の挙兵……五九九 天狗長征……六〇一

水戸城の攻防……六〇四 大政奉還……六〇五

第五章 近 代……………六〇九

## 第一節 明治維新と瓜連地方 .....六〇九

一、廢藩置県と瓜連地方 .....六〇九

明治維新 .....六〇九 廢藩置県と茨城県 .....六一〇

二、大・小・小区制と三長制 .....六一一

大・小区制の実施まで .....六一一 大・小区制の実施 .....六一三

明治六年の大・小区制 .....六一五 三長の役割 .....六一九

御用留について .....六一九 明治八年の改正大・小区制 .....六二一

地方三新法まで .....六二三

三、地租改正と瓜連地方 .....六二四

壬申地券の交付 .....六二四 地租改正条例 .....六二五 地主總代の設置 .....六三〇

地租改正のもたらしたもの .....六三三 地租改正反対一揆 .....六三四

一揆の背景 .....六三四 一揆の経過と瓜連 .....六三四

四、三新法の制定と地方自治 .....六四一

三新法の内容 .....六四二 郡長と戸長 .....六四三 公共施設の整備 .....六四七

百年前の瓜連と地誌材料稿 .....六四八 地誌材料稿について .....六四九

五、小学校の創設と教育の伸展……………六五二

寺小屋教育……六五一 学制公布……六六〇

瓜連地方の学区と小学校の開設……六六一 小学校の組織と教科……六六五

小学校の管理運営……六六六 小学校令の制定……六七〇

小学校令の改革……六七一

第二節 町村制の施行と瓜連地方……………六七七

一、町村の合併……………六七七

町村合併の経過と変遷……六七七

二、町村議会と郡制……………六八三

町村會議員と村財政……六八三 郡制と郡會議員の選出……六九五

郡是町村是について……七〇〇 那珂郡役所新築問題と経過……七〇一

第三節 大正・昭和初期の瓜連地方……………七一一

一、大正デモクラシーの道……………七一一

大正二年の選挙……七一一 大正時代の災害……七一四 町制の施行……七一〇

二、大正・昭和初期の農業生産……………七二九

土地所有構造……七二九 農業生産……七三三 特用農産物と農家副業……七三四

地方改良事業と農民の組織化……七四〇 農会廃止運動と経済更生運動……七四五

産業組合……七五二 静村国保組合と診療所の誕生……七五九

岩崎江堰の変遷……七六〇 久慈川の水害……七六四

三、鉄道の開通と商工業・金融の発達……………七六五

鐵道の開通……七六五 交通の発達……七六九 諸産業の動き……七七〇

金融業の発達……七七一

四、大正・昭和初期の教育……………七七三

小学校教育の実際……七七三 新教育思想の流入……七七四 青年の教育……七七五

第四節 満州事変から太平洋戦争へ……………七八一

一、昭和恐慌のなかで……………七八一

昭和恐慌……七八一 堀坂改修工事……七八一 税の滞納……七八四

怪文書……七八五 愛郷会瓜連支部……七八六 事局救済事業……七八九

救済事業の構造……七九一

二、戦時体制

七九一

国家総動員体制 ..... 七九二 町内会 ..... 七九三 食糧増産 ..... 七九五

共同炊事 ..... 七九七 供出 ..... 七九八 出征と様々な供出 ..... 七九九

戦没者と町葬 ..... 八〇一

三、戦時下の教育

国民学校の発足 ..... 八〇二 総動員の中の教育 ..... 八〇四

第六章 現代 ..... 八〇三

第一節 戦後の瓜連町

八〇九

一、戦後の混乱と町村行財政

八〇九

戦後の混乱と米軍進駐 ..... 八〇九 町村長の公選と財政 ..... 八一三

二、農地改革の進行と農民運動

八一八

農地改革の実施過程の意図と状況 ..... 八一八 地主の抵抗と農民運動 ..... 八二一

農地委員会の成立 ..... 八三〇 改革の実績 ..... 八三一

改革の終結と動静 ..... 八三八

三、未懲地解放と農業協同組合の設立……………八四二

未懲地解放……八四二 古徳・中里開拓組合……八四五

那珂中部揚水と岩崎江堰土地改良区……八五一 農業協同組合の設立……八五七

四、田園文化連盟……………八六二

田園文化連盟の成立……八六二 演劇部会……八六五

俳句部会……八七〇

第二節 町村合併と新瓜連町の誕生……………八七四

一、合併と各町村の動向……………八七四

町村合併の推移……八七四 各町村の動向……八八〇

二、新瓜連町の発足と新町政の展開……………八八三

新瓜連町の誕生……八八三 新町政の展開……八八六

公報・桜城の発行と町章の制定……八九一

三、高度成長期の経済構造の変化……………八九五

就業構造の変化と町内の諸産業……八九五 工業・商業の動き……八九七

商工会……八九八 農業生産構造の変化……九〇〇 農業生産の動き……九〇二

減反政策の進行 ..... 九〇六 田園都市の建設 ..... 九〇七 農協の合併 ..... 九〇九

町の産業振興計画 ..... 九一三

四、瓜連町の観光 ..... 九一三

静峰公園の誕生 ..... 九一三 古徳沼の白鳥 ..... 九一五

九一三

第三節 教育と福祉 ..... 九一八

一、戦後の教育変遷 ..... 九一八

学校教育の改変 ..... 九一八 教育基本法の成立 ..... 九一九

教員組合の発足 ..... 九二二 教育委員会の設置 ..... 九二三 P.T.A.の結成 ..... 九二五

学校給食 ..... 九二五 戦後の社会教育 ..... 九二六 社会教育の設備 ..... 九二七

二、小中学校・幼稚園 ..... 九二七

(1) 静小学校 ..... 九二七

(2) 瓜連小学校 ..... 九二八

(3) 瓜連中学校 ..... 九二八

(4) 茨城済生幼稚園 ..... 九二九

(5) ナザレ幼稚園 ..... 九二九

三、文化財の保護保存 ..... 九三〇

四、福祉社会の発達 ..... 九三〇

福祉社会 ..... 九三〇 福祉行政と民生委員制度 ..... 九三一

瓜連町社会福祉協議会 ..... 九三二

## 第七章 民 俗

九三九

概 説 ..... 九三九

第一節 瓜連町の年中行事と信仰 ..... 九四〇

一月 ..... 九四〇	二月 ..... 九四四	三月 ..... 九四五	四月 ..... 九四六
五月 ..... 九四七	六月 ..... 九四七	七月 ..... 九四九	八月 ..... 九五一
九月 ..... 九五二	十月 ..... 九五三	十一月 ..... 九五三	十二月 ..... 九五四

第二節 伝 説

九五六

一、自然の伝説 ..... 九五六

山の伝説……九五六

木の伝説……九五七

祠と池の伝説……九五七

狐の伝説……九五八

## 二、歴史の伝説

武家屋敷の伝説……九五九

坂の伝説……九五九

瀬と河原と淵の伝説……九六〇

街道の伝説……九六〇

トバ(鳥羽)長者屋敷と權現塚……九六一

善角坊の伝説……九六一

大 堀……九六二

## 三、信仰の伝説

大黒天伝説……九六二

地蔵伝説……九六三

観音伝説……九六三

お堂の伝説……九六四

乳母神伝説……九六四

塔の伝説……九六五

## 第三節 方 言

## 一、古代方言の一斑

九六六

## 二、現在の方言の大要

九六七

## 三、変格活用動詞の一段活用化

九七四

## 四、助詞・助動詞について

九七五

## 第八章 神社と寺院

九八一

### 第一節 神 社

九八一

- (1) 瓜連の素鷦神社 ..... 九八二
- (2) 静の静神社 ..... 九八三
- (3) 静の桂木稻荷神社 ..... 九八四
- (4) 静の北城稻荷神社 ..... 九八五
- (5) 下大賀の瀧神社 ..... 九八六
- (6) 中里の箱根神社 ..... 九八七
- (7) 古徳の富士神社 ..... 九八七
- (8) 鹿島の鹿島神社 ..... 九八八

### 第二節 寺 院

九八九

- (1) 常福寺(淨土宗) ..... 九八九
- (2) 弘願寺(臨濟宗円覚寺派) ..... 九九五

目 次

一一四

(3) 廃

寺

九九八

瓜連町年表

一〇〇七

あとがき